

令和元年度 第1回 かほく市子ども・子育て会議 会議録

○会議の概要

開催日時	令和元年8月27日(火) 15時00分から17時35分まで
開催場所	ほのぼの健康館2F 研修室
出席者の氏名	委員 西村委員、本多委員、山本委員、竹中委員、西盛委員、古谷委員、星名委員、細井委員、西盛委員、喜多委員、玄海委員(以上11名)
	事務局 市民生活部長：丸井、健康福祉部長：中田、 ＜子育て支援課＞課長：中田、課長補佐：清水、指導保育士：山岸、子ども総合センター次長：大浦、係長(児童家庭係)：寺嶋、係長(子育て支援係)：平野、係長(保育係)：新田、係長(子育て支援係)：大根、 ＜健康福祉課＞課長：越井、係長(母子保健係)：藤井 (以上13名)
欠席委員	0名
傍聴者	0名
議題	(1) かほく市子ども・子育て支援事業計画の点検・評価について (2) かほく市子ども・子育て支援事業計画(第二期計画)における方向性について (3) 「量の見込み」の検討について (4) その他
配付資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会議次第</li> <li>・委員名簿</li> <li>・資料1：かほく市子ども・子育て会議について</li> <li>・資料2－①：かほく市子ども・子育て支援事業計画の点検・評価について</li> <li style="padding-left: 20px;">2－②：かほく市子ども・子育て支援事業計画の点検・評価について 平成27年度～平成30年度(4ヶ年)の点検・評価進捗状況</li> <li>・資料3－①：基本指針の改正方針(案)について</li> <li style="padding-left: 20px;">3－②：第3章 計画の基本的な考え方</li> <li>・資料4：量の見込みの算出について</li> </ul>

○議事要旨

発言者	発言要旨
1 開会	
2 市民生活部長あいさつ	
3 かほく市子ども・子育て会議について	
事務局	[資料1に基づき、説明]
4 議事	
(1) 会長の選出及び会長あいさつ	
	[西村委員の他薦あり。拍手を持って承認とさせていただきます。]
	・看護大学の西村と申します。よろしくお願ひいたします。私はかほく市の子育て支援にとっても関心がありますので、皆さんの意見を反映しながらより良いものになったらいいなと思っております。ほとんどがここにいらっしゃる方々のお力で成り立つと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。

(2) かほく市子ども・子育て支援事業計画の点検・評価について	
事務局	[資料2に基づき、説明]
会長	・何かご質問、ご意見はありませんか？
事務局	[補足説明]
会長	・現在も進行中ですので、これからも確認しながら進めていけばいいかと思います。
(3) かほく市子ども・子育て支援事業計画（第二期計画）における方向性について	
事務局	[資料3に基づき、説明]
会長	・児童虐待防止対策の強化に向けた緊急総合対策について、実施拠点とはどういうものですか？
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設置に関して、これまでは努力義務だったのですが、昨年12月の通知により2022年度までに全国の市町村に必ず設置しなければならないこととなりました。昨年度の時点で県内では輪島、小松に設置されており、かほく市も準備を進めています。</li> <li>・中心的な業務は、支援の必要な家庭の相談、調査、支援、関係機関との連絡調整ということで、すでに子ども総合センターで行っている事業に、弁護士や医師など専門的知識を持つ人との関係を構築していくことで、拠点としたいと思います。</li> </ul>
委員	・設置場所は？
事務局	・市役所隣の支援センターです。
会長	・これまで児童相談所と市町とが役割分担をしながら行っていたが、うまくいっていなかった部分もあるため、よりしっかりした対応ができるように整備していくものという認識でよいでしょうか？
事務局	・はい。また、A市からB市へ住所を異動した時の連絡ミスを予防するという役割なども含んでいます。
委員	・市民に対して周知は行いますか？
事務局	・設置の際には、新聞や市広報などを利用し、周知する予定です。
会長	・来年11月には金沢市で子供の虐待防止学会全国大会があります。いろいろな取り組みが聞けるとと思いますので、良かったらご参加ください。
会長	・この他に、自分自身が課題として捉えているのは、自宅にこもりがちな母親への支援についてです。こもりがちな母親は、助産師や保健師など専門的知識を持つ方が相手だと気が引けて話づらい事もあるらしく、逆に学生など自分より知識を持たない方相手の方が気楽に話せるそうです。そういう母親と学生とのふれあいも支援になりえるのではないかと考えています。学生側も、自分が将来働いたり、育児したりする生活をイメージしやすくなりプラスになると思います。
事務局	・お年寄りで言うところの傾聴ボランティアのようなものでしょうか？
会長	・はい。子育てによってついこもりがちになってしまったが、誰か来てくれたら話したいという方が実際にいる。
事務局	・基本的に総合センターを利用する方は、外出できる方が中心となるのですが、こもりがちな方の情報はどのように把握していきますか？
会長	・例えばファミサポのような登録制にして、マッチングしたら行くというようにすればよいのかなと思います。こもりがちな方からすれば目立たないように利用したいという思いもあると思います。学生に対しても、次世代の親の育成にもなる。

委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校において、父子家庭に苦慮している。父親は一生懸命やっているつもりでも、子どもが本当に何に困っているのか分からないため、差ができてしまう。また、親によっては、「学校に行かなくても良い」という考えを持つ方もおり、これは児童虐待なのではと感じることもあるが、教員自身も「どこからが児童虐待か」という判断が難しい。今後も、センターからの支援や事例紹介などを受けながら、連携し対応していきたい。</li> </ul>
(4)「量の見込み」の検討について	
事務局	[資料4に基づき、説明]
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・この数値を元に第二期計画を考えていくということでしょうか？</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・この数値は、市の委託事業者が全国的なデータを基にして算出したものですが、委員の皆様において、現場での傾向とズレているものがありましたら、ご意見をいただき、計画に反映させたいと思います。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学童に関しては、もう少し人数は多いような気がします。なお、毎年一回、保護者へアンケートを取っていると思うが、それはどうして11月なのでしょう？夏休み期間が最も利用者の多い時期なので、7月に行って、冬休みに回答するくらいなら納得いくのですが。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学童保育クラブとこども園の利用者アンケートは、予算と今後の各事業の展開に関するための資料として行っており、不満足な部分があれば改善および翌年度の予算要求につなげている。今後、アンケートの時期について検討し、対応できるものは改善します。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園型の一時的預かり事業について、まだまだ多くなると思う。現在、木津幼稚園の来年度見込みを算出しているのですが、年間8,000人(日延べ)になる。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その他にも、皆様、お気づきの点がありましたら、後日お教えてください。</li> </ul>
(5) その他	
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他に、これを機会にお知らせ・お伝えしたいことはありませんか？</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学童の支援員が足りないので、不安です。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の課題として取り組みます。</li> </ul>
5 健康福祉部長あいさつ	
6 閉会	